#### R1.11~ 新料金体系で、それぞれ個別に 必要なプランをお選びいただけるようになりました。

# サービス付き高齢者向け住宅

# ルミエールしかまつ

この地域の医療や介護に長年の実績を持つ、はやしやまクリニックが「安心して自分らしく過ごせる暮らし」をお届けします。



医療法人社団 林山朝日診療所

# 《ルミエールしかまつ》 6つの特徴

#### 自由と個性の尊重

尊厳ある人間として、 自由と自主性を大切に考え 飲酒、喫煙も自由

#### 専門性の高い人員配置

認知症ケアに精通した介護士が 24時間365日常駐 状態にあわせた生活サポート

#### 安全性と快適性

全室スプリンクラー設置 1階は全面床暖房 寒い冬も快適生活

#### 安心の終身利用

病気になっても、 認知症が進行しても 最後まで自分らしく生活

(一部除外あり)

#### 「つなぎ入居」対応

他施設の待機待ちなど 短期的な「つなぎの入居」も 対応可能

### つながりの場作り

ウッドデッキの中庭と 1階ベランダ通路は 自然の空気に触れながら 開放的な中での みなさんの交流の場

医療法人社団 林山朝日診療所グループ

### 選べるオプションサービス

#### 介護保険サービス

#### □ 訪問介護ステーション

入浴介助やトイレ介助、食事介助や 室内清掃など、それぞれに必要なサービ スを選択し、ご利用いただけます。

#### □ 居宅介護事業所のご紹介



日々の生活に必要な、ベッドや車椅子などは介護保険サービスを利用、ケアマネージャーの 手配も迅速に対応します。

#### 医療保険サービス

家族様の通院負担が軽減

#### □ 症状に合わせた専門の在宅医を手配

内科、整形外科、歯科、皮膚科など、必要時には、専門提携医療機関へ速やかな対応依頼

#### □ 認知症と内科同時に診療可能な在宅医の手配

母体の医療法人社団 林山朝日診療所(林山クリニック)の、梁院長はコウノメソッドの実践医。認知症に伴う周辺症状を穏かにする認知症医療にも、丁寧に取り組んでおります。

#### □ 手厚いケア、訪問看護ステーションの手配

24時間365日対応可

療養上に必要になった場合、24時間対応型の訪問看護ステーションの手配をさせていだだけます。容態急変時には365日、昼夜を問わず相談が可能です。

※ 介護保険・医療保険、利用する保険は病状により適応が変わります。

そこには安心安全の、

自分らしい暮らしがあります



#### 入居費用

■ 敷 金

■ 家賃 (月額) Aタイプ 78,000 Bタイプ 81,000円

111.112.211.212.213号室 Aタイプ 78,000円 その他のお部屋 Bタイプ 81,000円

■ 共益費 (月額)

20,000円

■ 状況把握及び生活相談サービス費(月額) 20,000円

【サービス費に含まれるも

- ・フロントサービス ・安否確認 ・夜間巡回 ・日常生活上の各種相談 ・ 緊急時
- ・毎日の健康チェック ・食事のセッティング ・家族との連絡調整 宅急便、郵便物対応

#### 高齢者支援オプションサービス

■ 食費 (30日計算)

48,000円

朝食 400円 昼食 550円 夕食 650円 1日合計 1,600円

- ※ 食費は別途の契約となります。
- ※ 食事のお申込み、キャンセルは5日前までにお願いいたします。
- ※ 普通食、刻み、ソフト、ペースト、ゼリーなど、様々な食事形態をお選びいただけます。

総額 対ービス 食費 = Aタイプ 166,000 円 Bタイプ 169,000 円

- 介護保険負担額(介護保険サービスを受けられた場合)
- + ② 医療費・薬剤費(医療保険の自己負担)
  - ③ 各戸電気代、自費サービス、おむつ代、日用品等の実費

★額 + ① + ② + ③ = 個人負担金額の合計となります。

#### ■ 介護保険適応外のサービス(自費)

・ 起床、就寝介助サービス	1000円/回
・ ケアプラン外での排泄介助サービス	700円 / 20分
・ ケアプラン外での居室清掃サービス	1,000円 / 30分
• 買い物代行サービス	1,000円 / 1時間
・ 通院介助サービス(緊急時の付添い含む)	1,000円 / 30分
・ その他サービス 30分(30分未満切捨て)	1,000円 / 30分

- ※ 自費サービスはあくまで概算金額であり、利用内容により金額に変動があります。
- ※ 別途、各戸電気代 ・介護保険利用の自己負担分 ・医療費 ・衛生材料 ・おむつ代等
- ※ 症状が重篤になられ、自費サービスの利用が増えた場合でも、上限 80,000円 以上は ルミエールしかまつが負担させていただきます。 (サービス費を含む)



症状に合わせ介護保険と自費サービスを組み合わせ、柔軟にプランをお選びいただけます。 諦める前に、まずはご相談ください。







人にやさしい 木造建築 冷える1階は 全面床暖房

24時間 365日の安心の見守り 自分のペースで生活をする



景色を眺めながら 喫煙いただけます。

オープンデッキで 様々な交流が生まれます。

《1階》

家族様の宿泊可能な 多目的室



《 2階 》

安心して入浴いただける 特殊機械浴槽を設置



### 居室は、19.26㎡~23.44㎡

## 広々としたトイレ、洗面台、クローゼットを完備

心が落ち着く青い天井





ウォシュレット全室完備



# ルミエール しかまつ

《 ご入居 申込書 》

							申込	み日	令和	:	年		月	
	ふりがな					続柄				生年	月日			
お申込者							男	М •	T·S					
	氏名						女		<u>:</u>	Ħ F	╡	В	(	歳)
		₹					TEL	(	)		_			
	住所	•												
							携帯	(	)	_	-			
	ふりがな						男			生年	月日			
	氏名							M •	T·S					
	K-0					女		-	年 F	<b>=</b>	Н	(	歳)	
		₹												
	住所						TEL	(	)	_	-			
_"	12//1		口同上				携帯	(	)	_	_			
入					△雑児院	沙尔哈老来	T							
ご入居者	介護保険 認定期間	平成 • 令	和 年 月	月 日 ~	介護保険被保険者番 号									
		令和	年 月	$\Box$	医療保	医療保険証番号				•				
	介護度	支援 1・2 介護 1・2・3・4・5			医療受	給者番号								
	居宅介護支援事業所 ケア			マネージャ	ャー 事業所TEL /FAX									
								Ţ	EL (	)		-	_	
								ΔX (			_	_		
	氏名		性別	生年月日		続柄		同居				佰	<b>帯考</b>	
家族			<u> </u>						<ul><li>別居</li></ul>					
構			1						<ul><li>別居</li><li>別居</li></ul>					
成								同居						
								同居						
	□ 独居				かかりつ	ナ 大医 :								
	□同居				主治医名	:								
	□ 入院中		病院名				<b>⊣</b> • R	年	日	П	より	入院中	<b>.</b>	
現							<u> </u>		<del></del>			ر. —	/\NIH	
仕の	□ 施設入剤	fr.th	施設名					⊣• R	在	月		±Ν	入所中	h
現在の状況	ם אינאראסאר				'	1 11	+	73		<i>S</i> -9	/\/\/			
	□ お申込み理由													

TEL (078) 621 - 1150 FAX (078) 621 - 1140

# ルミエールは、神戸の中心部にあります

#### 【 交通・アクセスのご案内 】

#### □ 公共交通

市営地下鉄「長田」駅からバス 神戸高速鉄道「高速長田」駅からバス

神戸市営バス17系統 「しあわせの村」行き 「鹿松(しかまつ)」バス停下車

#### □ タクシー

高速長田駅から、約10分 JR兵庫駅から、約15分

#### □ 自動車

阪神高速「湊川インターチェンジ」から北に約5km 山麓バイパス「鵯(ひよどり)」ICから5分





#### 【 サービス付高齢者向け住宅概要 】

●名称:ルミエールしかまつ ●所在地:〒 653-0877 神戸市長田区鹿松町3丁目1-10 ●居室:1人部屋39室(19,26㎡~

23.44㎡) ●入居契約:賃貸借契約方式

●開設年月日:平成27年12月1日 ●土地・ 建物権利関係:事業主体の所有 ●規模・構 造:木造2階建て ●事業主体:医療法人社団

林山朝日診療所

## 【お問合せ先】 お気軽にお問い合わせくださいませ。

医療法人社団 林山朝日診療所

# サービス付高齢者向け住宅 ルミエールしかまつ

〒653-0877 神戸市長田区鹿松町3丁目1-10

電話 078-621-1150

ルミエールしかまつ

検索

【ホームページ】

http://lumiere-sikamats.com/

#### ○ レビー小体型・ピック病 複合型の認知症 (女性)

以前入所されていた施設では暴力行為、不穏状態が頻繁に見られ、男性職員をとても嫌がられていました。 ルミエールしかまつ 入所当初は無表情で不機嫌、被害妄想も激しく、常に「〇〇が無くなった! 誰かが 入ってきて持っていった!!」と何度も訴えておられました。

また夜間の失禁も多く、朝になって混乱「誰かが水を掛けて行った!!」と興奮される事こともが度々ありました。そして居室にこもりがちで、カーテンはいつも閉められた状態でした。

入居後、今ある症状に対してスタッフと連携をとりながら内服薬の微調整を図りつつ、状況を鑑みながら 介護の内容を検討、夜間に定期的な排泄介助、ラバーシーツのセットなどで失禁がなくなると、失禁に よる混乱も徐々に治まり、興奮されることが少なくなり落ち着いてこられました。

半年が経過する頃には、少しずつご自分のペースで居室からフロアにでてこられることが多くなり、他の入所者様と談笑をされたり、男性スタッフとも笑顔でお話をされるようなられ、歌を歌ったり、クイズ遊びや体操などにも率先して楽しそうな表情で参加されておられます。

#### 〇 レビー小体型・ピック病 複合型の認知症 (88歳 男性)

入居様の声

奥様に先立たれ、独り暮らしをされていましたが、耳が遠く、くも膜下出血で倒れた事もあり健康面も考え 近隣のルミエールしかまつ であれば何かあっても家族も駆けつけられるとの思いでご入居されました。

たばこが唯一の楽しみとお聞きしておりましたが、入居当初はほとんど喫煙されず、口数も少なく、新しい場所での生活に戸惑いもみられましたが、時間が経つにつれ生活に慣れ、広々したテラスでタバコを吸いながら体操をされていました。時々、夜10時ごろ「寝る前のたばこ1本」と笑顔で来られることも。

耳が遠く、他の入居者様とのコミュニケーションは取りづらいこともおありになるようでしたが、ご自分のお部屋のベランダに洗濯したタオルを乾されたり、本を読まれたり・・・

デイサービスを利用される入所者様も多いのですが「ここの方が自由で居られる、本読みたいときに読んだりできる、ここの方がええ」と笑顔でおっしゃれます。

認知症状の進行がゆっくりで、スタッフに様々な相談をされたりと、コミュニケーションを積み重ねることで 信頼関係が深まり、いつしか和気あいあいとレクリエーションの輪に笑顔で参加されるようになりました。

#### O 家族様の声 T.S 様

何度か他の施設で暮らしおりましたが、易怒性や妄想等があり退去せざるえなくなり、こちらにお世話に なる事になりました。林山クリニックでのお薬の微調整とスタッフ様の温かい対応により、驚くほど心穏やか に過ごしております。普段の生活の仕方が家族にとっても分からない面も多く、医療機関と連携した施設で あることで、細やかなケアをして頂けることが非常に重要であると思っています。

今年2月、肺塞栓症で心肺停止となり胃ろう造設をすすめられましたが、家族の意志で胃ろうを拒否し、 林山クリニックに相談させてもらい ルミエールしかまつに戻ってまいりました。

驚くことにその後、皆様のお陰で食事も全て口から摂れるようになり、すっかり元気になりました。 本当にありがたく思っています。

何よりも母本人が、ここのスタッフさんは皆さん優しくて、親切でそして食事が美味しいと言っております。

#### ○ ネフローゼ、透析・躁うつ病(70歳 女性)

ご主人の介護中にネフローゼを発症、その後ご主人が亡くなられ、生きがいを無くされていました。

入所当初は重度のうつ病で、毎日部屋を真っ暗にし、交流を拒み、スタッフと話すこともほとんど無く、コミュニケーションをとろうとするとたりと、スタッフもどう対応していけばよいのか困惑の日々でした。 主治医との会話記録も「生きていても仕方がない」など死を望む発言ばかり・・・

当初服薬管理はご自分でされておりましたが、誤薬をキッカケにスタッフ管理となり、1日に何度も訪室するたびに少しづつ会話の機会をつくり、肯定も否定もせず傾聴し寄り添うことに努めました。 そんな中で表情に変化が見られるようになり、笑顔がでるようになってきました。

その頃から「死」という言葉が口にする代わりに、スタッフへの感謝の言葉を口にされるようにり、他の 入所様との交流もできるようになり、会話を楽しまれております。

ここで親しくなられた方が旅立たれた時はスタッフも家族様も心配になりましたが、現実を受け止め、ご自身で向き合い解決出来るようにまでなられておられました。

今は年配の入所者様のお世話をされたり、家族様との関係も良好です。

「ここに来て最近は楽しいな~って思えるようになりました。」と笑顔でお話くださいます。

#### ○ アルツハイマー型認知症(80歳 女性)

ルミエールしかまつに入所された当初は、暗い表情で居室で過ごされることも多く、あまり他者と関ることをされておられませんでした。

日を追うごとに進んでいく認知症の症状に、自らも悩み苦しまれておりました。

日常出来ていたことが出来なくなる不安、自分で覚えていない言動(特に夜間の徘徊、帰宅願望、周辺症状)を他者から聞くことで「どうしていいのか分からない」「段々おかしくなっていく」などの言葉を口にされることが多くなってこられておりました。

コウノメソッドを取り入れた認知症医療、服薬コントロール、更に認知症の専門の教育を受けたスタッフによる24時間の充実したサポートにより現在では穏やかにご自宅で過ごされていた頃の状態にまで回復、ご家族様から「以前の母に戻ったようです。」驚きのお声をいただいております。

